

事業完了—(廃止等)—報告書

調査研究期間等

調査研究期間	委託を受けた日 ～ 平成31年3月13日
調査研究事項	<p>《委託研究Ⅲ》 対象校2校 神戸市立丸山中学校西野分校、兵庫中学校北分校</p> <p>ア. 広報・相談体制の充実に関すること ○神戸市立中学校夜間学級の教育活動の広報 ○入学希望者に対して、より丁寧な相談体制の確立</p> <p>ウ. 教育課程・指導上の工夫に関すること ○個人の能力、入学目的に応じた弾力的な教育課程の編成 ○教科別習熟度別学級編成及び同室複数指導の推進</p>
調査研究のねらい	<p>ア. 神戸市立中学校夜間学級の教育活動を市民に広報し、中学校未卒業者及び学び直しを希望する既卒業者に対して、より丁寧な入学相談と教育相談を行い、教育の機会確保を推進する。</p> <p>ウ. 中学校夜間学級に通っている生徒の目的は、中学校卒業資格取得、高等学校進学のため、教養を高めるため、日本の社会に適応し生活を向上させるためなど多様であり、年齢・国籍学力も多様である。その生徒一人ひとりの状況に応じた弾力的な教育課程を組み、指導方法を工夫し、効果的な中学校夜間学級の運営を目指す。</p>
調査研究の成果	<p>《 神戸市立丸山中学校西野分校 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在籍者24名中22名が外国籍生徒（4カ国）であるが、西野分校は日本語学校ではなく日本の公立中学校としての教育課程を実施している。 <p>【年間を通じて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科の学力、日本語の習得状況を勘案して全校を6つの習熟度別学級に編成、授業を実施した。 学年制は維持し、西野分校への帰属意識を育て誇りを持たせた。 ・すべての授業に、複数の教員が入った。 ・理科において、DVD教材を有効利用し理解の進展を図った。 ・日本語指導体制を見直し、改善した。 日本語指導を、教育課程外の時間に行った。 教育課程内では、個人の能力に合わせ、多文化共生サポーターを申請し、中国語1名、ベトナム語1名の派遣を受けた。また、

外国人児童生徒支援ボランティア（ベトナム語）の支援も受け、各授業において通訳として適宜活用できた。

- ・校内生活、行事学習、学習成果物をデジタルカメラで撮影し、印刷掲示及びホームページや学校紹介印刷物に利用、丸山中学校西野分校の教育活動の周知に努めた。
- ・全国の夜間中学校運営の情報を集め、西野分校の運営に生かすことができた。
- ・全国夜間中学校研究会に参加し、資料を全教員分購入し、研修に活用した。

【4月】

- ・新入学生徒の受け入れ 7月20日までで11名
(2年生8名、3年生5名)
- ・全職員による学習指導検討会議
教科習熟度と日本語習得状況に合わせた教材を検討した。
PCを使っての自主教材の作成のため、多量のPCインクが必要。

【5月～3月】毎月

- ・教科打ち合わせ会で個人ごとの学習の進捗状況を確認した。
習熟度と日本語習得状況を勘案し、毎月学級編成替えを行った。

【8月】

- ・夏季休業中個人別補習を実施した。(文化祭作品づくりを含む)
- ・高等学校等進学希望者への補習を3月まで行った。

【11月】

- ・2日(金) 文化発表会(学習成果発表会)
丸山中学校吹奏楽部、太田中学校1年生と交流した。
- ・27日(火) 全市対象 授業公開
地域住民、神戸市立学校園職員、神戸市教育委員会事務局職員が授業を参観し、夜間中学の教育活動への理解を深めた。

【12月】

- ・県内夜間中学校との交流会に参加した。

【1月】

- ・新年度教育課程原案編成会議(校長、教頭、教務部長)
- ・新年度教育課程の承認(職員会議)
- ・全職員による学習指導検討会議

【2月】

- ・作文発表会
- ・入学面談開始 2月1日～7月19日
入学資格、入学目的の確認
入学資格は、神戸市在住。H31年度より神戸市在勤者にも拡充。
学力(日本語習得状況)の確認
入学希望者に対して体験入学を実施(1日間)

【3月】

- ・新入学生徒受け入れ準備

- ・学級編成会議（職員全員参加）
学習面において、日本語習得状況を勘案した習熟度別学級編成を行う。全校を6学級に編成する。

◀ 神戸市立兵庫中学校北分校 ▶

- ・在籍者18名中13名が外国籍生徒（7カ国）であるが、北分校は日本語学校ではなく日本の公立中学校としての教育課程を実施している。

【年間を通じて】

- ・国語、数学、英語については学年別に3学級の習熟度別学級を編成した。全校では、合計9学級の習熟度別学級。
- ・理科、社会については、学年別に学習。全校合計6学級。
- ・実技教科については、全校で一斉学習。
- ・すべての授業に、複数の教員が入った。
- ・外国人生徒に日本語習得のための授業を行った。
希望生徒に対して、始業前に1時間の日本語学習を実施した。
日本語指導ボランティアを活用した。
日本語学習の教材を収集整理し、効果的に使用した。そのため小学校の教科書を教材作成参考図書として、職員と生徒が有効活用できた。
多文化共生サポーターを申請、タイ語1名、ラオス語1名、フィリピン語1名の派遣を受け、授業に活用した。
- ・短焦点プロジェクターを各教室に配備。社会、理科等において動画教材を利用し、わかりやすい授業が推進できた。
- ・学校図書館の整備 読む力の育成を図った。
- ・校内生活、行事学習、学習成果物をデジタルカメラで撮影し、印刷掲示及びホームページや学校紹介印刷物に利用、兵庫中学校北分校の教育活動を広報した。
- ・全国夜間中学校研究会に参加し、資料を購入、職員研修資料として活用した。
- ・定時制高校との交流会を実施し、卒業後の進路に対する意識を高めた。

【4月】

- ・新入学生徒の受け入れ 7月20日までで6名
(2年生6名、3年生6名)
- ・全職員による学習指導検討会議を開催した・
習熟度別学級編成と学年制の維持を確認した。

【5月～3月】毎月

- ・教科打ち合わせ会で個人ごとの学習の進捗状況を確認し、PCを使って教材を個別に作成し、印刷配布した。

【8月】

- ・長期休業中の課題を個人の習熟度に合わせて出題した。

	<ul style="list-style-type: none">・個人別補習を実施した。（文化祭作品づくりを含む）・高等学校等進学希望者への補習を行った。～3月まで <p>【9月】28日（金） 運動会、兵庫中学校体育館で実施した。</p> <p>【10月】</p> <p>18日（木） 文化発表会（学習成果発表会）を分校で実施した。 兵庫中学校吹奏楽部が参加した。</p> <p>【1月】</p> <ul style="list-style-type: none">・新年度教育課程原案編成会議（校長、教頭、教務部長）・新年度教育課程の承認（職員会議）・全職員による学習指導検討会議 <p>【2月】</p> <ul style="list-style-type: none">・入学面談開始 2月1日～7月19日 入学資格、入学目的の確認 神戸市在住、H31年度より神戸市在勤者にも門戸を開く予定。 学力（日本語習得状況）の確認 入学希望者に対して体験入学を実施（3日間） <p>【3月】</p> <ul style="list-style-type: none">・1日（金）作文発表会を実施した。・新入学生徒受け入れ準備・学級編成会議（職員全員参加） 学習面において、日本語習得状況を勘案した習熟度別学級編成を行う。
--	---